

Parasit Studio Console 84取扱説明書

このたびはParasit Studio Console 84をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の性能を発揮するためにも、ご使用前に当説明書をお読みください。



Parasit Studio Console 84は、8ビットコンピューターやコンソールのサウンドからインスパイアされたギターシンセペダルです。音楽的で多くのジャンルで使うことができ、とにかく楽しいペダルです。

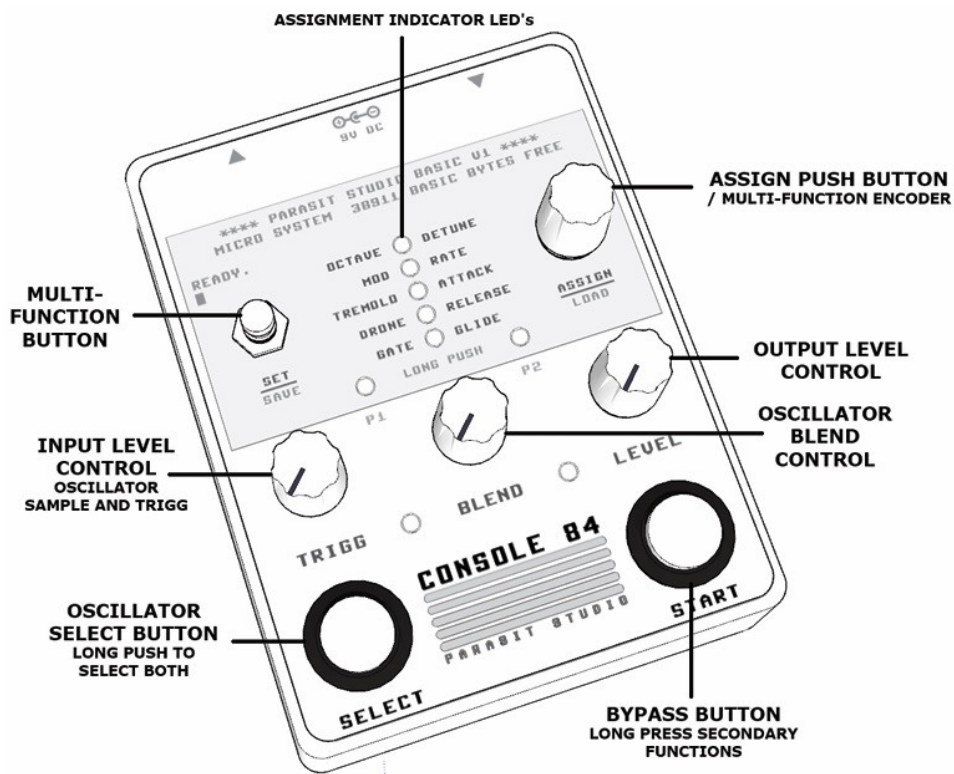
エンベロープ、デチューン、オクターブ、グライド、7タイプのモジュレーション、疑似ランダムパターンジェネレーターを備えた2つのデジタルオシレーターがあり、オシレーターの切り替えでノートをオーバーラップさせることができます。さらにファズモードも備えています。

セッティングを5つまでプリセットとして保存することができます。

●特徴

- ・ 100%オリジナルデザイン
- ・ AVRマイクロコントローラーによるデジタルオシレーター
- ・ Parasit Studioオリジナルサウンドエンジン
- ・ アナログスクエアウェーブファズ
- ・ 高品質なPCB
- ・ ソフトタッチリレータイプのトゥルーバイパス
- ・ 高品質Lumbergジャック
- ・ Panasonicコンデンサ、金属皮膜抵抗
- ・ 高品質なパウダーコーティングを施した筐体

Parasit Studio Console 84はスタンダードなセンターマイナスDC9Vアダプターで駆動します。消費電流は33mAです。電池はお使いになれません。



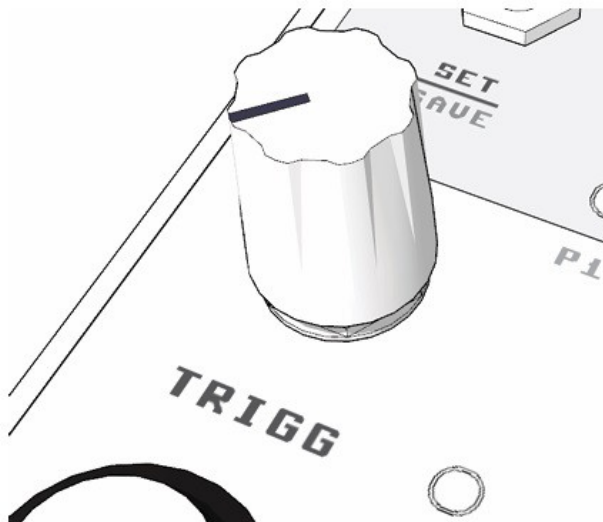
●使い方のヒント

Console 84のオシレーターはモノフォニック（単音）です。演奏では単音をできるだけクリアに演奏することを心掛けてください。コード（和音）はファズモードでのみ対応しています。

安定したトラッキングを実現するため、ギターのピックアップはネックポジションを推奨します。低音を演奏する際はオクターブジャンプを防ぐため、弦を軽くミュートしてみましょう。また、ギターで低音を演奏するのではなく、オクターブ上を演奏して、オクターブ設定で音程を下げることもできます。

Console 84は慣れるまで少し時間がかかります。別の楽器を演奏しているようなものですので、最大限に活用するには通常とは少し違った演奏が必要な場合もあります。

●TRIGGノブ



ペダルから音を出すには、TRIGGノブを上げます。これは演奏やアタックを検出するためのインプットレベル制御です。

トリガーLEDが点灯しているとき、選択されたオシレーターはインプットシグナルの周波数をサンプリングします。そのオシレーターのエンベロープのアタックをトリガーします。

LEDが消灯すると、選択されたオシレーターがノートをホールド/ラッチし、エンベロープリリースを開始してフェードアウトします。

※リリースエンベロープが作動するため、ノートがトリガーされてからすぐにOFFになるスウィートスポットにTRIGGノブを調整します。

●オシレーター



Console 84には、P1とP2の2つのオシレーターがあります。（プレイヤー1とプレイヤー2）

SELECTボタンを押してP1とP2を切り替えます。

SELECTボタンを長押しすると、P1とP2の両方を選択できます。

※オシレーター設定を変更するにはP1またはP2の片方を選択します。両方を選択した状態では設定の保存とロードのみが可能です。

●BLENDノブ



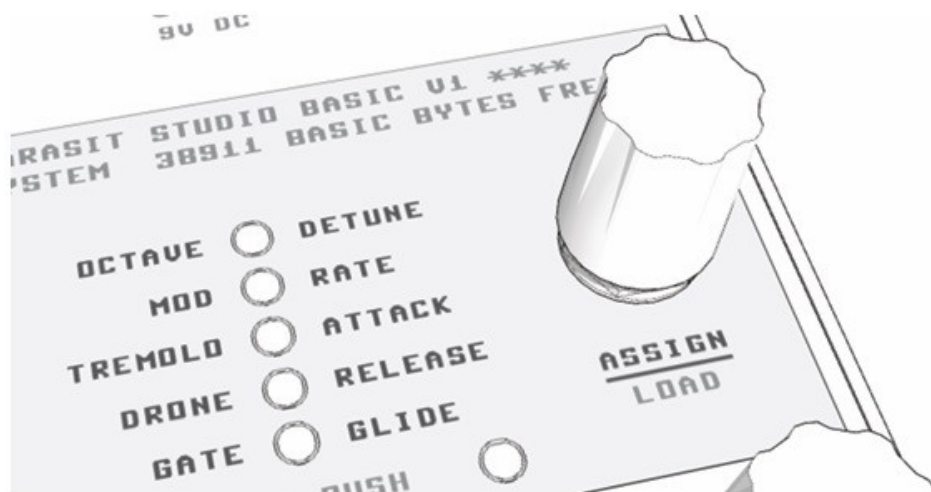
BLENDノブでオシレーターP1とP2をブレンドします。

選択したオシレーターは演奏に応答し、サンプル・エンベロープをトリガーします。

また、選択したオシレーターはエンコーダー・ASSIGNボタンとSETボタンで設定を変更することができます。

※STARTを押しながらSETを押すと選択したオシレーターの設定をリセットします。

●エンコーダー・ASSIGN



赤いエンコーダーはASSIGNボタンとしても動作します。

ASSIGNを押すとエンコーダーとSETボタンの機能への割当を5種類から選択します。

ポジション1：SETボタンはオクターブ設定をサイクル選択し、エンコーダーはオシレーターをデチューンします。

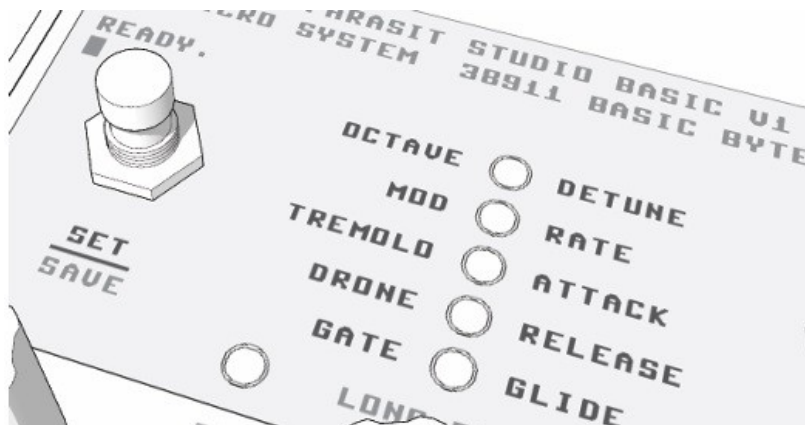
ポジション2：SETボタンはモジュレーションエフェクトをさ選択し、エンコーダーはそのRATEを設定します。

...

...

というように、エンコーダーが実質的に19のノブの役割を果たします。

●SET



SETボタンは、ASSIGNされた設定に応じて様々な機能を行います。

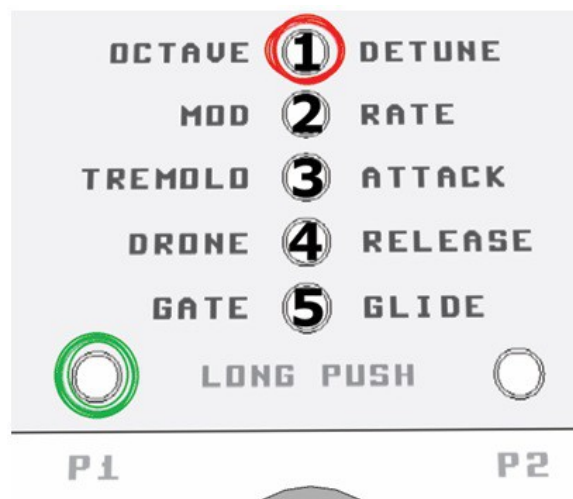
LEDの列はSETに割り当てられてる機能を表示します。

一部機能には複数のステップがあります。例えばオクターブとモジュレーションの設定はサイクル選択となりますが、ドローンやゲートなどの機能はON/OFF設定のみです。

※SETボタンを押した後またはエンコーダーを回した後、一時的にLEDが現在の設定を表示します。

SETボタンには追加機能があります。長押し機能については後述します。

●ファズモード



ファズモードはP1オシレーター固有の機能です。ファズモードではオシレーターが無効になり、和音に対応するゲートのかかったスクエアウェーブファズになります。

ファズモードに入るには、P1を選択し、ASSIGNで1に設定し、STARTをまたはSETを長押しします。

オシレーターモードに戻るにはSETを押すか、STARTを長押しします。

※ファズモードとシーケンサーモードは後から追加されたもののため、設定が少し隠れています。ファズモードがアクティブな場合、LEDにナイトライダーパターンが表示され、ファズモードを示します。TRIGGをノブでファズのゲートを調整できます。

●シーケンサーモード

シーケンサーモードはP2オシレーター固有の機能です。OCTAVE/DETUNEに設定すると5つの異なる疑似ランダムパターンシーケンサーとなります。これはアルペジエーターに少し似ていて、サンプリングされた音符のスケールで音を演奏します。

シーケンサーを使用するにはP2を選択してASSIGNを1の位置（OCTAVE/DETUNE）に設定し、STARTまたはSETを長押しします。エンコーダーはRATEコントロールとして機能し、SETを押すと5タイプのシーケンサーを切り替えることができます。STARTを長押しするとシーケンサーを終了します。

シーケンサーはタップテンポコントロールも可能です。タップテンポを使用するには、オシレーターP2を選択し、ASSIGNで1を割り当てます。次にASSIGNボタンを押しながらSETボタンをタップしてテンポを設定します。

選択できるシーケンサータイプは以下のとおりです。

スケール	ランダム要素
1.オクターブパターン	RATE
2.オクターブパターン	インプットノート+RATE
3.ペントトニックスケール	アウトプットノート+インプットノート+RATE
4.メジャースケール	本体のインプットノート+RATE
5.マイナースケール	本体のインプットノート+RATE

※4と5のオシレーターは、他のオシレーター（P1）のみを動作している場合でもインプットノートに基づいてランダム化されます。

ヒント

P2を選択し、ノートを演奏してベースノートを設定します。オシレーターP1に切り替えてオシレーターを演奏すると、そのノートtpの範囲にロックされたままシーケンサーがランダム化されます。

P2のドローンモード（ASSIGN 4）を有効にするとシーケンサーがフェードアウトしなくなります。

※ドローンモードがアクティブなとき、シーケンサーの新しいノートごとにエンベロープが自動的にトリガーされるため、エンベロープのアタックレートとリリースレートを変更し、シーケンサーの音を短くすることができます。

●ASSIGN 1

・OCTAVE/DETUNE

SETを押すと5タイプのオクターブセッティングをサイクル選択します。

1.ユニゾン

2.1オクターブ下

3.2オクターブ下

4.1オクターブ上

5.2オクターブ上

エンコーダーでオシレーターをオクターブセッティングから最大5度までデチューンすることができます。

SETボタン長押しの機能

P1 : ファズモード

P2 : シーケンサーを起動

※両方のオシレーターを同時に演奏するとき、コードのようにハーモニーを加えることができます。様々なオクターブ設定は、ギターを演奏したときに最もトラッキングしやすい位置で演奏し、オクターブで必要な音色に調整することができます。

●ASSIGN 2

・MOD/RATE

Console 84には複数のタイプのモジュレーションを備えたLFOがあります。

SETを押すと5タイプのモジュレーションをサイクル選択します。

1. ヴィブラート
2. パルス幅変調 (PWM)
3. フィルタースウィープ
4. オルタネートオクターブ
5. リングモジュレーション

エンコーダーで上記モジュレーションのRATEを設定します。各モジュレーションはそれぞれ個別のRATEを設定できます。

SETボタンを長押しすると、モジュレーションがインプットトリガーによってワンショットトリガーされるALTモジュレーションモードを選択できます。

※オルタネートオクターブは現在のオクターブ設定により効果が異なります。ユニゾン設定ではユニゾンと1オクターブ下で切り替わり、1オクターブ下の設定では1オクターブと2オクターブ下で切り替わります。

●ASSIGN 3

・TREMOLO/ATTACK

SETを押すとトレモロが起動し、4タイプの波形をサイクル選択します。

1. トライアングル
2. ノコギリ (下降)
3. ノコギリ (上昇)
4. スクエア

エンコーダーはエンベロープのアタックレートを調整します。高くするとアタックが遅く/長くなります。

トレモロがアクティブ時はトレモロスピードを調整します。

SETボタンを長押しするとアタックモードがALTモードに切り替わります。

ALTモードでは新しいインプットトリガーごとにボリュウムが0にリセットされ、エンベロープアタックが開始されます。これはアタックを遅くしたときにより効果的です。

●ASSIGN 4

・DRONE/RELEASE

SETボタンでドローンのON/OFFを切り替えます。

ドローンはエンベロープのリリース部分をバイパスし、音量を一定レベルに保って音を鳴らします。

様々なモジュレーション設定、デチューン、P2シーケンサーに有効です。

エンコーダーはエンベロープのリリースレートを調整します。

ドローンON時はエンコーダーでオシレーター周波数を調整します。

※シーケンサーON時のP2オシレーターはエンベロープリリースの調整となります。

ドローンON時のシーケンサーは新しいノートごとにエンベロープを自動でトリガーするためです。

●ASSIGN 5

・GATE/GLIDE

SETボタンでゲートのON/OFFを切り替えます。

ゲートはインプットシグナルが存在しない場合に出力をOFFにするもので、スタッカートリフを演奏したい場合に便利です。

エンコーダーはノート間のポルタメント/グライドの量を調整します。最小でグライドなしになります。

※ゲートの感度とタイミングはTRIGGコントロールに影響を受けることがあります。

グライドはリングモジュレーションと組み合わせても面白い効果となります。

●プリセット

Console 84には5つのプリセットスロットがあり、セッティングの保存とロードが可能です。

保存またはロードするにはSELECTを長押しして両方のオシレーターを選択します。

ASSIGNボタンを押して保存先またはロードするプリセットを選択します。

※両方のオシレーターが選択されると、ASSIGN LEDが点滅し、プリセットモードであることを示します。

プリセットの保存：SETを長押しします。

プリセットのロード：ASSIGNを長押しします。

プリセットの保存またはロードが成功すると、バイパスLEDが短く点滅します。選択したプリセットスロットにデータが無い場合、ロードは中止されます。

・ホールドタイム

両方のオシレーターが選択されているとき、エンコーダーを回してトリガーのホールドタイムを調整できます。この設定は両方のオシレーターに共有されます。

●START

STARTボタンはバイパスON/OFFを切り替えます。

STARTを長押しするとASSIGNに応じてALT機能を使用できます。この機能は特定の設定に素早くアクセスするためのものです。

P1 または P2 を選択した状態で

ASSIGN 1 (P1) : ファズモード ON/OFF

ASSIGN 1 (P2) : シーケンサー ON/OFF

ASSIGN 2 : モジュレーション ON/OFF

ASSIGN 3 : トレモロ ON/OFF

ASSIGN 4 : ドローン ON/OFF

ASSIGN 5 : グライド ON/OFF



例えば、モジュレーションをOFFの状態からSTART長押しでモジュレーションをONにすると、最後にアクティブだったモジュレーションタイプが設定されます。初めてSTARTでモジュレーションをONにする場合、最初のタイプのモジュレーションがデフォルトになります。

●ALT機能

SETボタンにはASSIGN位置に応じて長押しで設定できるALT機能があります。

ASSIGN 1

P1 : ファズモード

P2 : シーケンサー

ASSIGN 2 : ALTモジュレーション

- 1.ディレイが加わる深いヴィブラート
- 2.ワンショットトリガーPWM
- 3.ワンショットトリガーフィルタースウィープ
- 4.ワンショットトリガーオルタネートオクターブ
- 5.ロジック&モジュレーション

ドローンモードではシーケンサーは新しいノートごとにALTモジュレーションをトリガーします。

ASSIGN 3 : ALTアタックモード

ALTアタックモードでは新しいトリガーごとにボリュームエンベロープが0にリセットされます。

ASSIGN 4 : ホールドタイムON/OFF (デフォルトはON)

ホールドタイムをOFFにするとトリガーLEDがON

でもアタックが完了するとエンベロープのリリースが開始されます。素早いピッキングに適していますが、新しいアタックを検出するにはLEDがOFFになっている必要があることに注意してください。

ASSIGN 5 : ノートラッチのON/OFF

ラッチをOFFにすると、トリガーLEDがOFFでもオシレーターが常に入力をサンプリングします。高速メロディに適していますが、ノートをラッチして重複するノートを演奏しなくなります。

●CREDIT

Console 84は、Parasit StudioのFredrik Lyxzénにより開発されました。2019年後半に始まり、様々なマイクロコントローラー、アナログ回路、ユーザーインターフェースを使用してゼロから何度も改定され、完成しました。

このペダルは深夜のプログラミングとブレッドボード作成に気の遠くなるような時間を費やしました。完成が近づく頃には作業をするのではなくただ演奏して興味深い音を見つけることに没頭していました。

Console 84を楽しんでいただければ幸いです。

Fredrik